

# 七月読み取りおけいこ⑥高学年

名前 ( )

今年の土用の丑の日は七月二十八日です。ということ  
で、今日は土用の丑の話をしてみましょう。

現在のようにウナギをかば焼きにするようになったのは元禄時代（一六八八～一七〇四）のことだそうです。

そして、安永・天明年間（一七七一～一七八九）には、江戸の町民の間で土用の丑の日にウナギを食べる習慣がはじまったのだそうです。

もつとも、奈良時代には大伴家持という人が「夏やせにはウナギを食べるといい」と歌によんでいます。

江戸時代にベストセラーになった『養生訓』という本の作者、貝原益軒はこの歌を引用したうえで、ウナギが夏におすすめの食材であることを言っています。

当時の江戸では健康ブームがわき起こり「腹八分目を心掛ける」「旬のものを食べる」ということがいきわたり、みんなが健康志向だったようです。

「本日土用丑ノ日」という張り紙を平賀源内がウナギやさんの店先に張ったという説もありますし、江戸・神田のウナギ屋・春木屋善兵衛が丑の日に食べるようすすめたという説もあり、本当のところはわかりません。

しかし、古くからウナギは体によい食べ物だと思われていたことは確かです。

しかし、近年ニホンウナギは危機におちいつています。少し前まで河口にうじやうじやいたシラスウナギ（ウナギの子）がほとんどなくなつたのです。とりすぎや温暖化の影響と言われています。このままでは絶滅してしまうのでは？と心配する人もいます。みなさまそのあたり、調べてみては？

音読サイン→

できばえは？



- ① 何の話ですか？ ( )
- ② 土用の丑の日には何を食べるといいと考えられたのですか？ ( )
- ③ 土用の丑にウナギ、と定着したのはいつですか？ ( )
- ④ 奈良時代にウナギをすすめた人はだれですか？ ( )
- ⑤ 貝原益軒のベストセラーは何という本ですか？ ( )
- ⑥ 江戸時代の健康ブームでいきわたつたことを二つあげましょう。 ( )
- ⑦ 土用の丑の張り紙をしたらしいと言われる人はだれですか？ ( )
- ⑧ あつてている文に○をつけましょう。 ( )
- ⑨ ウナギは大きくなるとシラスウナギになる。 ( )
- ⑩ ウナギのかばやきは奈良時代からある。 ( )
- ⑪ むかしからウナギは体に良いとされた。 ( )
- 上の文の感想を四行にまとめましょう。